

2021年12月15日

RoAD to the L4 プロジェクト推進開始、ワークショップ開催

国立大学法人 東京大学、国立大学法人 東海国立大学機構 名古屋大学、国立研究開発法人 産業技術総合研究所及び株式会社 三菱総合研究所で構成するコンソーシアムは、経済産業省が国土交通省と連携し、自動運転レベル 4 ※1 等の先進モビリティサービスの実現・普及に向けて、研究開発から、実証実験、社会実装まで一貫して取り組む「自動運転レベル 4 等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト ※2（以下「RoAD to the L4」）のテーマ 4 「混在空間でレベル 4 を展開するためのインフラ協調や車車間・歩車間の連携などの取組」（以下「テーマ 4」）に採択されました。また、テーマ 4 の愛称を、CooL4（Cooperative Level 4 Automated Mobility Service in mixed traffic environment：混在空間における協調型自動運転レベル 4 モビリティサービス）に決定しました。

CooL4 の活動推進にあたり、11月10日（火）に茨城県境町にて自動運転レベル 4 での協調型自動運転サービスの実現に向けてワークショップを開催しました。11月15日（月）には、CooL4 プロジェクト参加メンバーによるキックオフミーティングを東京大学生産技術研究所にて開催しました。当日は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を考慮し、対面・オンライン併用での会議開催となりました。

「RoAD to the L4」は、技術開発、調査分析、実証実験にとどまらず、意義、目標等を踏まえ、レベル 4 等先進モビリティサービスの社会実装を目指し、自動運転・MaaS の個別テーマに取り組むだけでなく、人材育成、社会受容性等の横断的な課題にも取り組みます。

CooL4 では、5 年間の取組として、協調型システムにより、様々な地域の混在交通下において、レベル 4 自動運転サービスを展開することを目標とします。先進モビリティの取り組みとして、柏の葉スマートシティ（千葉県柏市）、藤沢サステイナブル・スマート・タウン（神奈川県藤沢市）、東京都豊洲地域などと協働して、地域への実装を目標に、活動を推進していきます。また、レベル 4 だけでなく、レベル 3 以下や他のモビリティなどの運転・運行支援にも資することを目指します。

CooL4 プロジェクトは東京大学が幹事機関を務め、モビリティ・イノベーション連携研究機構（UTmobI）、生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター（ITS センター）、新領域創成科学研究科、情報理工学系研究科、および未来ビジョン研究センターが参画し、大学を中心に幅広い専攻分野の研究者で構成されています。東京大学が柏の葉エリアで行っている自動運転バス実証実験の取り組み実績を活用し、大学の中立性を活かして多くの企業

のご協力を得、多様な企業に活用していただけるよう本テーマのゴールである自動運転レベル4サービスの実現に取り組みます。

※1：自動運転レベル4とは、特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運転装置が運転操作の全部を代替する状態と定義されています。

参考：国土交通省 HP：<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001377364.pdf>

※2：経済産業省 HP：「自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト（RoAD to the L4）」について

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/automobile/Automated-driving/RoADtotheL4.html

■本件に関するお問い合わせ先

Cool4 プロジェクト東京大学窓口

cool4ut@iis.u-tokyo.ac.jp



11月10日茨城県境町・ワークショップでの意見交換の様子

